

「延世大学校スプリングスクール参加報告書」

京都大学人間・環境学研究所博士課程2年 李然

2018年3月4日から3月24日までの三週間、延世大学校スプリングスクールを参加したことについて報告する。

今回このプログラムに参加した動機は、主に自分の研究をより一層進めるためである。私の専門分野は東アジア思想史であり、研究対象は韓国との関係が深い。これまで論文などはある程度読めたが、聞き取りと会話はほとんどできなかった。しかし、何度も韓国の学者や学生を前にするも交流できない状況があり、自分の聞き取り能力と会話能力を向上させる必要性を痛感した。そして、研究の延長線として、現代韓国および韓国人について、いろいろな側面から知りたいとも思った。

語学の勉強について、実用性を重視している語学堂の授業は、会話と聞き取り能力の向上にとって実に有益であった。先生たちは、韓国語以外の言語についての心得があるので、外国人の文法や発音の癖を理解した上で指導している。クラスメイトの出身はさまざまな国や地域であった。母語が近い者同士は何人もいたが、皆はあえて使い慣れていない韓国語でのコミュニケーションをしようと努力していた。また、期間中、延世大学校の学生たちとの合同セミナーで、韓国語を使って発表をした。今回は初挑戦で、うまくはいかなかったが、よい経験を積めたと思う。また、延世大学校の学生たちの優れた英語能力には感心した。これらの授業と演習を通じて、言語がコミュニケーションツールとして果たす役割に対する認識も深まった。

授業以外でもさまざまな文化体験のおかげで、韓国の文化や社会に触れ合えた。伝統工芸である金箔貼り付けを試み、手作りのお土産を手に入れ、いい思い出も作った。「ドラマで学ぶ韓国語」のコースでは、ストーリーを楽しみながら日常の韓国語を覚えた。そして延世大学校の学生との言語交換プログラムでは、韓国の社会や若い世代の考えなどについていろいろと聞いた。また、今回泊まる宿舎にはあらゆる施設が揃い、韓国での生活を思い存分に味わえた。以前シンポジウムの参加などで、韓国に訪ねたことがあったが、実際に生活するのは初めてであった。短い滞在だったが、以前とは違う角度から韓国と接触することができた。

今回のプログラムに参加することで、語学力の向上だけでなく、韓国という国についての認識も深まった。この経験を通して、卒業後に韓国に行く可能性を考え始めた。

3 주 동안 유익한 시간을 보내습니다.

선생님들이 많이 가르쳐 주셔서 감사합니다.

앞으로 또 어학당에서 한국어를 공부하고 싶다고 생각합니다.